

『生きてる人形』 作：ポチ子

今日、怒鳴り散らかしてるおっさんが店に来てさ。

グダグダ文句垂れて、

いちいち突っかかってくるの。

謝って、頭下げるしかないじゃん、こっちはさ。

それで、しばらく時間がたって、

自分の言い分が通ったら、

すっきりした顔で帰って行って。

その人は今頃、

奥さんが作った飯を食って、

娘にパパなんて言われて、遊んでるんだよ。

1週間も経ったら、

今日の事なんて一切記憶に残らないんだろうな。

私は、家でそいつの怒鳴り声を思い出して泣いて、

1週間後も1か月後も嫌な記憶として残るのにさ。

そんなこと考えたりもしないんだろうな。

生きてる人形とでも思ってるんだよ。

だから、何かしたって問題がないって、

そもそも人形なんだから、

それに思いをはせるなんて事もしない。

人の人生をなんだと思ってるんだ。

そんなやつが人間の面をして、

普通に生きてるのが憎たらしい。

なんでそんな奴が、

何も考えずに生きててよくて、

私が苦しまなきゃいけないんだ。

おかしいよ、全部。